

2024年12月13日

各位

会社名 株式会社ビーロット
 代表者名 代表取締役会長 宮内 誠
 (コード番号:3452 東証スタンダード)
 問合せ先 TEL. 03-6891-2525

2024年12月期通期連結業績予想の修正及び
 販売用不動産評価損の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催いたしました取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2024年9月30日付「2024年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました2024年12月期の連結業績予想を修正及び販売用不動産評価損の計上について決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2024年12月期連結業績予想の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,100	5,690	5,060	3,470	180.08
今回修正予想(B)	31,000	6,000	5,600	3,820	198.52
増減額(B-A)	900	310	540	350	—
増減率(%)	3.0	5.4	10.7	10.1	—
(参考)前期連結実績 (2023年12月期)	23,510	5,498	4,945	3,297	171.13

2. 販売用不動産評価損の計上

2024年12月期におきまして、前期に引き続き保有する販売用不動産について、より厳格かつ保守的に再評価した結果、一部物件において取得原価を切り下げることとし、販売用不動産評価損として連結決算及び個別決算において523百万円を売上原価に計上する見込みです。

なお、この評価損は、「1. 業績予想の修正」に織り込み済みでございます。

3. 修正の理由

当社グループは、販売用不動産の売却額等を売上高とする不動産投資開発事業、不動産取引に対して一定の料率を乗じた手数料収入等を売上高とする不動産コンサルティング事業、保有不動産に対する賃貸収入や賃貸管理報酬等を売上高とする不動産マネジメント事業の3つの事業を営んでおります。これら3つの事業は、収益認識の形態が異なり、売上高の計上額も大きく異なることから、当社グループでは、売上高の業績予想は非開示とし、株主価値の向上に直結する「親会社株主に帰属する当期純利益」を重要な KPI と定めて、売上高を除く業績予想を策定しております。

第3四半期連結累計期間の業績においては、不動産投資開発事業にて当社が得意顧客とする富裕層・海外富裕層からの不動産の取得ニーズが非常に強く、計画を超える利益での売却を実現したプロジェクトが複数件あり、また、不動産コンサルティング事業における取り扱い案件の大型化、不動産マネジメント事業における宿泊施設の変動賃料収入等の増加、近年に実施した M&A や出資における持分法適用会社の着実な利益貢献等により、当社グループが 2024 年2月 15 日に公表いたしました 2024 年 12 月期通期連結業績予想を前倒しで達成いたしました。

当第4四半期においては、不動産投資開発事業にて販売用不動産の仕入・取得活動に注力となり、また大型 M&A の関連費用と上記の販売用不動産評価損が計上される予定となりましたが、当社グループ経営における各部門一丸での取り組みの結果として、2024 年 12 月期通期連結業績予想においては、利益においても前回発表の通期連結業績予想を上回り、創業以来の過去最高益で着地する見込みとなりました。

以上

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。